

<p>△産業宣教 1 講 霊的やぐらのモデル(使 10:45)</p>	<p>△レムナント伝道学 2 講 巡礼者のやぐらのモデル (使 19:21)</p>	<p>△核心 3 講 伝道者のやぐらのモデル(使 27:24)</p>	<p>△散らされた弟子たち 4 講 癒やしのモデル (使 19:8)</p>
<p>世界の軍隊に絶対やぐらを建てる弟子。ロマ 16 章で 23 人程度を通して実際のローマ福音化が成された。そのために一番最初にすべきことは、霊的やぐらのモデルになることだ。だれも助ける人もなくて、何も持ったものがない状態の 0.1%の人々が世界を変えたのだ。</p> <p>□序論</p> <p>1. 24 祈りということは、最も軍人らしくて、最も神様の祈りの人だということだ。主が私の羊飼いだと告白したダビデが、世界を変化させた。他の人が見て神様を知るようになった。それが 25 だ。他の人を生かす霊的な作品、それが永遠だ。健康に最も良い方法で、長くゆっくり呼吸することだ。呼吸して、続けて 7 大やぐら、7 旅程、3 道しるべを祈るのだ。</p> <p>2. そうすれば、プラットフォームになる。ここで弟子が起こる見張り台になる。この道しるべとともに、この部分が世界を疎通して、御座と通じるアンテナとなるのだ。</p> <p>3. そうすれば、軍宣教 24・25・永遠の祈り後援者(ロマ 16 章の人々)が出て来る。一番最初に 5 つの力が回復すれば、他の人が知るようになる。それが伝道だ。</p> <p>□本論_味わった軍人</p> <p>1. 聖書を見れば、軍人が霊的やぐらのモデルだった。</p> <p>1) モーセ、ヨシュア、カレブ 2) ダビデ 3) コルネリウス(使 10:45)</p> <p>2. コルネリウスに伝えられた霊的やぐらは</p> <p>1) 使 1:1 わざわいを止める福音であるキリスト</p> <p>2) 使 1:3 モデルになるやぐら、神の国</p> <p>3) 使 1:8 モデルになる力、ただ聖霊</p> <p>3. 何のモデル 時代を引っ張っていくモデルだ。</p> <p>1) 皆さんの祈りは 7 やぐらと 7 旅程、3 道しるべで、皆さんの背景は御座であるために、世の中を引っ張っていくようになる。</p> <p>2) それとともに、世の中が知らない力(5 力)が出てくる。霊的な力、上から与えられる知恵、多くの人を助けることができる力、霊肉ともに健康が与えられる。</p> <p>3) 私たちの作戦は 300%だ。専門性 100%、システム 100%、現場性 100%だ。</p> <p>□結論_(主日時代)-<u>家族</u>24・25・00</p> <p>軍人は主日時代は開くことができる。全国と全世界に配置されている私たちの家族がどのように集まるのか、よく分析して、これ(24・25・永遠)を作らなければならない。皆さんの祈りのやぐらとみことばのやぐらは証人のやぐらになる。</p>	<p>私たちは巡礼者で、巡礼者のやぐらを作るモデルだ。</p> <p>□序論_創 2:7 エゼ 37:1-11、ヨハ 20:22、使 1:3, 8</p> <p>1. 巡礼者の力</p> <p>1) 聖書の背景(7 か国) 一道 巡礼者の力を持っていけば、七つの大きい国は世界へ出て行く道になる</p> <p>2) 歴史的背景 この力がなければ、すべての歴史で私たちが攻撃してくる敵になる</p> <p>3) 私たちは残りの者、残る者、残れる者、残す者になることが巡礼者の力と道</p> <p>2. 巡礼者の使命</p> <p>1) 軍の将校の移動は、すべて巡礼者の使命が入っている道</p> <p>2) 兵卒がいる期間、将校や職業軍人が移動して通う期間が重要</p> <p>3) 多民族から来た軍人、私たちが行かなければならない多民族軍対象がいる。</p> <p>△時刻表が最も重要。三安息日、2 年、毎日、あるときは長期的に</p> <p>3. 巡礼者の目はどこに</p> <p>1) 備えられた者がいるのに関心なければ神様が事件を起こされる</p> <p>2) その中に弟子がいる</p> <p>3) 弟子の中に使命者がいる。軍には病んでいる者、うつ病の人が多い。</p> <p>□本論_このときから出てくること</p> <p>1. 祈り <u>24・25・00</u> -巡礼者の祈りは、私、環境、時間超越</p> <p>2. やぐら 24・25・00-移動するとき、多くのことが起こるので 1 千やぐら建てること</p> <p>3. 目標 24・25・00 -巡礼者の目標はローマ。先に私の霊的やぐらを作って、巡礼者のやぐらを作りなさい。</p> <p>□結論_巡礼者がついて行く道</p> <p>1. 巡礼者はすべてのことを受容、</p> <p>2. 超越しすべき 3. 答えを受けるのだ。</p> <p>△創 2:7、エゼ 37:1-11、ヨハ 20:22、使 1:3, 8 呼吸とともに力を受けるべき</p>	<p>今、世界の軍隊では戦わなければならない、守らなければならない、ダビデを育ててはならないと教えた。皆さんは、もっと大きいまことの王になるべきだ。ダビデは、主は私の羊飼いなので、必要なことはないと言った。羊飼いでいながら成功した。神様が王として立てられた。できる、やればできるのは、違う。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは火の中に入っても神様が助けられるだろう、しかし、助けなくても大丈夫だと言った。それが本当に成功したエリートだ。達成感で満足してはいけない。神様の計画を成し遂げなければならない。揺れても、困難が少し来ても、良くできなくても大丈夫だ。神様のより良い計画がある。ところで、問題は私たちが焦ることで、自分の思い通りには良くできない。私たちの健康、考え、たましい、霊的状态の位置が脳だ。そして、脳には祈りと呼吸が必要だ。私は常に祈りができるほど、ゆっくり呼吸して、息を吐き出す時は目標にするところに祈りを送る。</p> <p><u>3・9・3、空中、5 力、CVDIP、3 庭</u>-三位一体の神様が、私の中に臨んで、私の考え、たましい、からだ、生活を治めてくださるように、御座の力が私に臨むように、3 時代、空中の権威を持つ者に勝つ力、地の果てまで行くことができる 5 力、あらかじめ見る CVDIP の力、三つの庭</p> <p><u>3 時代、御座、7 大旅程、3 道しるべ、軍宣教(6 か国-韓、米、日、中、北、口)</u>つなげながら、ゆっくり呼吸+祈れば、ある日、脳に刻印されて力が生まれる。</p> <p><u>霊的やぐら、巡礼者のやぐら、多民族のやぐら、癒やしのやぐら</u>が建つ。やぐらが建つときまで揺れず、落胆してはならない。</p> <p>□序論_7 わざわい、12,000 回戦争(大戦二回)、霊的病気の世界化-多民族で霊的戦争することを知らないため</p> <p>□本論</p> <p>1. 霊的暴風時代(使 27:10-25) -牧師を人だと考えて神様のみことばを聞かず悪霊の話、人の言葉だけ聞くので来たのだ。このとき、神様のみことばが伝えられた。</p> <p>2. わざわい時代を止める絶対やぐらを建てること</p> <p>3. 三つの庭-237、癒やし、サミット</p> <p>237 か国が軍宣教士官学校に入ってくるようにして、癒やしメッセージを与えれば良い。すべての人を生かす本物のエリートを作りなさい。</p> <p>□結論_1 人</p> <p>祈りが通じれば、皆さん一人でも大丈夫だ。答えを与えるサイトを作ればすべて入ってくるようにことになる。せっかちな性格なのが問題だ。やぐらが建つ日、来るようになっている。</p>	<p>□序論_すべての軍宣教は癒やしの答えを持っていないなければならない。</p> <p>1. これを(核心の序論の前)の表)で霊的癒やしを始めなさい。霊的なやぐらが建つときまで、落胆してはならない。</p> <p>2. このときから、祈りの癒やしが生じる。</p> <p>3. 個人化されるように働きが起こらなければならない。</p> <p>□本論</p> <p>1. 癒やしの始まり-道しるべは使 13:1-4、16:6-10、19:1-7 だ。これが始まりだ。</p> <p>2. 内容-方法がないから、シャーマニズム、占術、偶像に陥るしかないのに、これを癒やした。</p> <p>3. 目標は-会堂。キリストの当為性、祈り、神の国。</p> <p>□結論_「ロマ 16 章軍宣教 24・25・永遠のチームを作りなさい」</p> <p>1. この人々の祈りが集まれば、メディアで訓練させる霊的士官学校と</p> <p>2. メディアで瞑想を癒やし学校を作ることができる。</p> <p>3. 世界軍人の中で、予備役と現役を置いて、これ(ロマ 16 章の人の軍宣教 24・25・永遠のチーム)のために祈りができる世界軍人組織(世界軍宣教)を作らなければならない。</p>

△区域メッセージ (第 40 週) 真の根源 (21 の本質) と 25 の答え (使 1:1, 3, 8)	△聖日 1 部礼拝 隠されていることを見た人々 (コロ 2:1-10)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 永遠な未来を数えなさい (コロ 3:1-11)
<p>祈り-真の根源-霊的な力、知力、体力、光の経済、弟子 (5 力) △私たちに最も必要な答え 21 がある。真の根源の答えを受ければ、まず霊的な力ができる。また、神様が上から与えられる多くの知恵と知識を持つようになって、霊肉に大きな力になる体力もできる。このときから、光の経済が起きて、神様が備えておかれた弟子が起こる、どうすれば、このようになるのか。</p> <p>□序論</p> <p>1. カルバリの丘 (ヨハ 19:30) キリストが十字架で完了された。サタンに勝たれたまことの王で、わざわいをなくすまことの祭司、神様に会う道を開く、救いの道を開くまことの預言者として来られた。この三つの単語を合わせてキリストと言う。キリストということばは、油注がれた者を言う。</p> <p>2. オリーブ山では御座と神の国のことが基準だ。</p> <p>3. この契約を握ってマルコの屋上の部屋に集まったのだ。ここで聖霊の満たしの力を与えられたのだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 毎日集中 <b>1・3・8</b> キリスト、神の国、ただ聖霊に毎日集中するのだ。</p> <p>2. 毎日確認 <b>天命、召命、使命</b> 祈りで天命、召命、使命をいつも確認するのだ。どこに行ってもこれを見つけ出すのだ。</p> <p>3. 毎日味わう <b>当然、必然、絶対</b> どんなことにあっても、落胆せずに、当然、必然、絶対、神様の絶対計画を見つければ、多くの答えが与えられる。</p> <p>4. 毎日証人 <b>一心、全心、持続</b> すると、重要なことを見る証人になって、方法が一心、全心、持続になる。</p> <p>5. 毎日発見 <b>ただ、唯一性、再創造</b> そうすれば、毎日、ただ、唯一性、再創造を発見するようになる。</p> <p>6. 毎日答え <b>24・25・00</b> このとき、本当の答えが毎日見えるが、24・25・00 だ。最高の祈りの答えは、私たちが 24 祈りできることだ。</p> <p>7. 毎日感謝 <b>刻印、根、体質</b> 運命を変えることが出てくる。刻印されたことで根をおろし、体質になる。これが 21 だ。</p> <p>□結論</p> <p><b>3・6・11</b> 救われなかった人は、サタンの誘惑、創 3 章、6 章、11 章に当てはまっている。</p> <p><b>1・3・8</b> 私たちはキリスト、神の国、しかし (ただ) 聖霊を持って続けて行くのだ。金土日時代が開かれれば、これから先にすべきだ。すると、私たちの学業、職業、産業に、まちがいがなく働きが起こり、健康も回復する。</p> <p><b>5 力</b> -そこで、これを合わせて 5 力と言って、これが生じるのだ。 △今日も主日であるが、礼拝の時だけ祈りをよくして、みことばよく握れば、六日間、答えが見える。</p>	<p>□序論_キリスト 神様が無知なムーディーと盲人クロスビーをもっと大きく用いられた。その理由は何か。なぜ発展した国であるほど、わざわいがたくさん臨むのか。その理由を知らなければならない。</p> <p>1. サタンが行った三つの事件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>エデンの園事件-神様のみことばを信じるな。あなたが神のようになる。</li> <li>ノアの洪水時代事件-人々の中に悪霊が入ってネフィリムにした</li> <li>バベルの塔事件-神様に挑戦</li> </ol> <p>2. サタンが一番恐れることがイエス・キリスト</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>その御名で 24 してしまえば、必ず働きが起こる。</li> <li>キリストを弱体化させることをサタンが一番好む。       <ol style="list-style-type: none"> <li>キリストを抜いてしまったり強調しないことが死ぬことだ (4 節)</li> <li>キリストの中にすべての知恵、知識、宝が隠されていることを分からなくさせるので、聖書の再創造の答えが来ない (8 節)</li> <li>キリストを弱体化させたヨーロッパ、アメリカ教会は、門を閉ざし、カトリックが入った国はわざわいが臨んだ。</li> </ol> </li> </ol> <p>3. キリスト味わう祈りと礼拝</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>キリストを味わう定刻祈り-すべての暗闇が砕かれる。</li> <li>キリストを味わう祈り 24-運命がひっくり返される。</li> <li>礼拝-キリストの御名によって全世界の暗闇が砕かれる光を照らすこと。</li> </ol> <p>※キリストの奥義がなければ、暗闇とサタンが教会を掌握して殺す。それがサタンの最終目標</p> <p>□本論_キリストの大使</p> <p>1. 皆さんは、キリストを味わって伝える霊的な王-行く所ごとにサタンの権威が砕かれる。悪霊を追い出して、敵に打ち勝つ権威を与えられた</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>エジプト時代-サタンと暗闇を打ち砕く王のような祝福を味わったヨセフとモーセ</li> <li>ペリシテ時代-ミツパ運動をしてダビデに王のような契約を与えたサムエル</li> <li>バビロン時代-実際に王を変化させた人々</li> <li>ローマ時代-王のような使命を受けたパウロ (使 27:24)</li> </ol> <p>2. 皆さんは祭司の使命を持ってこの地に行く-光が放たれるので、すべての呪い、わざわいが離れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>奴隷として行ったが、その人々を解放</li> <li>捕虜として行ったが、その人々を解放</li> <li>属国になって流浪の民として行ったが、その人々を解放</li> </ol> <p>3. 偶像で滅びる人々を生かす光を照らす預言者として呼ばれた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>キリストが御座に神様の右の座 (コロ 3:1)</li> <li>キリストの御名で祈ることは答え</li> <li>キリストの御名で権威を使えば暗闇が砕かれる</li> </ol> <p>□結論_神様のやぐらを建てなさい</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7 やぐらを建てなさい。 2. 7 大旅程に行くのだ。</li> <li>三つの道しるべ       <ol style="list-style-type: none"> <li>聖霊の導き</li> <li>困難-人生のターニングポイント</li> <li>危機-カエサルの前に</li> </ol> </li> </ol>	<p>聖書で答えを受けた人々の共通点は、なくなることはない、永遠なことを見たのだ。</p> <p>永遠の時刻表 (一生の答えと祈りが入るべき)</p> <p>ダビデ (1 サム 16:1-13) -サムエルに会ってから続けて準備した。1 千やぐらを作って神殿を準備した。レムナントは、世界を動かした人々の本を読んでみなければならない。世界福音化する神殿を祈って、今から準備しなければならない。</p> <p>オバデヤ (1 列 18:1-15) -重職者は、危機が来たとき、どのようにしなければならないのか、準備しなければならない。</p> <p>年をとった人 (詩 90:10-17) -日を数える知恵をくださいという祈りを見なければならない。レムナントは、終わる時間を知って、祈って準備しなければならない。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>モーセを王宮に送って入れたヨケベデの決断、モーセを婿としたイテロ、偵察しに来た人を助けてあげたラハブ</li> <li>ハンナ-エツサイ (サムエル-ダビデを作り出した)</li> <li>使 2:43-45 世界を生かす教会に献金した人</li> </ol> <p>△献金が何かを知って、光の経済を回復する契約を堅く握らなければならない。レムナントも私の一生にすべきことを今、考えなければならない。</p> <p>その方法-上にあるものを求めなさい</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>キリストの中に隠されている (3 節)。必ず体験しなければならない。</li> <li>栄光のうちに現れる (4 節)</li> <li>神のかたち-創造主のかたちにしたがって新しくされなさい (10 節)</li> </ol> <p>これが幕屋、神殿、教会として現れた。これが伝道の中の伝道だ。</p> <p>△上から与えられる力を持って、地のことを回復しなければならない。上にあるものをもって永遠なことを、隠されたこと、文化を変えるのを捜し出さなければならない。</p> <p>□本論_教会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>私の中に神様の神殿を建てなさい (3-4 節) -常に祈り       <ol style="list-style-type: none"> <li>7 やぐら-私に神様のやぐらを建てなさい。</li> <li>7 旅程を祈りで行きなさい。</li> <li>3 道しるべ-聖霊に導かれるために祈り、門が閉ざされたとき祈ったがマケドニアに、エペソに入る前にマルコの屋上の部屋に起こった祈り運動が起こり、ティラノ運動以後にローマに</li> </ol> </li> <li>教会堂に神様の神殿を建てなさい (1 節)       <ol style="list-style-type: none"> <li>異邦人の庭</li> <li>子どもたちの庭-レムナントが来て祈り、未来を見つけ出すべき</li> <li>祈りの庭-癒やしの庭</li> </ol> </li> <li>行くことができない国に神様の神殿を建てなさい。       <ol style="list-style-type: none"> <li>237 一つずつ引き受けて祈り始めなさい。</li> <li>5000 レムナントでなければ 5000 種族に入れない。</li> <li>南米、中国-飢え渴いている。福音が必要だ。</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>肉との戦争-地のことを思ってはならない (2, 5 節)</li> <li>メイソン戦争-すべての国の文化、経済が神殿</li> <li>神殿戦争-多くの人々の文化と霊的なことを変えるように</li> </ol> <p>□ロマ 16 章の人のように、24 祈るチームが作られれば、自然にローマ福音化される。</p>